

あとがき

編集顧問

糸満盛憲
越智隆弘
荻野利彦
小野啓郎
清水克時
竹光義治
守屋秀繁
富田勝郎
山室隆夫
矢部 裕

編集主幹

菊地 臣一
編集委員
金谷文則
黒坂昌弘
高岸憲二
土屋弘行
戸山芳昭
内藤正俊
吉川秀樹

編集同人

生田義和 澤村誠志
井樋栄二 田辺剛造
岩田 久 田畑四郎
岩本幸英 玉置哲也
大井利夫 中村耕三
小野村敏信 馬場久敏
加藤博之 浜西千秋
金田清志 佛淵孝夫
腰野富久 三笠元彦
紺野慎一 三浦隆行
楠田喜三郎 持田讓治
酒 匂 崇 山田治基
桜井 実 吉川靖三

本号が読者に届くのは、先祖や東日本大震災、あるいは避難先で亡くなった人々へ鎮魂の祈りが捧げられている頃です。

何事もなかったように動いていく世の中、一方では亡き人を忘れまいとする心、忘れることで区切りをつけ歩み出そうとする人、これが世情です。ただ、今言えることは、大震災とそれに伴う原発事故は、われわれが生き方や世の中のあり方を振り返ったことです。何かが変わりました。後世、史家は人類の歴史の転換点と位置づけることでしょう。

私自身、この歳になって初めて死生観を問われました。それまで何の覚悟も諦めもしていない自分に愕然としました。「人間、如何に生きるか」です。

「人生」の定義はさまざまです。「側にいる他者との関わり」、「断念や後悔の積み重ね、あるいは、順位をつけて選ぶことの繰り返し」などです。

世の中の中心にも、トップに居るわけでもないわれわれでも、その人には各々掛け替えない日々があります。それが人生です。

身近な人の死に接する時、自分に残された時間に思いが至ります。「人は満足を探すべき時に幸せを探して回り、それは見つからない」、「おまえは何をしてきたのだと吹く風が私に云ふ」(中原中也「山羊の歌」・「帰郷」)……。

ここ5年ほど、大学のサイトに「花だより」という駄文を毎週書いています。歳時記には、普通、誕生日が記してあります。人生の始まりから数える考えです。書いているうちに、人生の終わりに数える命日に目が行くようになりました。

執筆開始当初、原発事故前、そして今、「花だより」の文体が変わりました。そこで気がついたことがあります。それは、「人は過去を断ちきられてしまうことが、未来への不安よりも応(こた)える」ことです。われわれは、原発事故で何が起きて、どうしたのかを、次代を担う若者に伝えていかなければなりません。なぜなら、時の動きは「時代が変わる」のではなく、「人が代わる」ことだからです。

わが国の復興、復活は、人材育成に尽きます。その際、われわれ医療人にもっとも欠けているのが、「情報の共有化」と「発信」の欠如です。しかも、発信のほとんどは「プロの罫」に陥っています。

医学論文でも、国際雑誌や本誌の編集に携わっている立場から見ると、受け止め方に危惧を覚えます。それは、各国の社会背景や医療制度の違いを織り込んで、情報を咀嚼していないことです。英語論文に書いてあることを鵜呑みにしないでほしい、切に思います。そのために、普段付き合ひの海外交流は大切です。そうでないと、米国における脊椎外科医の社会的失墜がわが国でも起きてしまいます。

本号は、新技術の特集や温故知新が掲載されています。未来を向くことは大切です。一方で、過去に想いを馳せることも大事です。なぜなら、私達は過去を向き、未来に背を向けて前に進んでいるのですから。(菊地臣一)

臨床整形外科 (第48巻第9号)

2013年9月25日発行(毎月1回25日発行)

定価2,625円(本体2,500円+税5%)

2013年 年間購読料(税込、送料弊社負担)

冊子版 29,400円

冊子+電子版/個人 34,400円

冊子+電子版/共有 38,900円

電子版/個人 29,400円

電子版/共有 33,900円

E-mail rinseige@igaku-shoin.co.jp

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/rinseige>

オンライン投稿 ID:rinseige パスワード:rinseige

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

電話 編集室直通 (03)3817-5702(担当:石井・山崎)

販売部直通 (03)3817-5659

ファクシミリ (03)3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 (株)アイワード 電話 (011)241-9341

広告申込所 (株)医薬広告社 電話 (03)3814-1971

・Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo © 2013, Printed in Japan.

・本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

・本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

・**JCOPY** (株)出版者著作権管理機構委託出版物)

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の承諾を得てください。